

東京都鳥類越冬分布調査報告
2016-2022



特定非営利活動法人バードリサーチ

東京都鳥類越冬分布調査は、全国鳥類越冬分布調査と並行して、東京都の本土部のより詳細な越冬状況を明らかにするために、2016年1月から2022年2月までの越冬期に実施した調査である。

調査の方法

調査はバードリサーチが事務局を務めて実施した。繁殖期の調査(植田・佐藤 2021)とは異なり、この調査のための現地調査は行わず、普段の観察記録をアンケートとして収集した。全国鳥類繁殖分布調査および東京都鳥類繁殖分布調査の参加者に、2016年1月から2022年2月までの記録の提供を呼びかけ、また、バードリサーチの野鳥記録データベース「フィールドノート」の情報、eBird Japan の情報のうち、対象期間の東京都本土部の情報を抽出して使用した。これらの情報には、識別あるいは入力への誤りと思われる情報が含まれていた。アンケート情報については、入力者に問い合わせ、修正を行なったが、それ以外の情報については、インターネットによる検索を行なって、観察記録の証拠となる情報が見つけれられたものを除き、本来の分布域でないと考えられたものについては、事務局の判断で削除した。

これらの情報を約1km四方の第3次地域区画に集約して、分布図として示した。

調査結果

43人の調査者から6,381件のアンケート情報が集まった。それにバードリサーチの野鳥記録データベース「フィールドノート」の情報、eBird Japan の情報134,383件を加えて、約1km四方の第3次地域区画で集計すると、843メッシュの情報があった(図1)。記録された鳥類は180種で(表1)、うち非定期的越冬鳥および保全上の理由からクマタカを除いた156種について分布図を描いた。

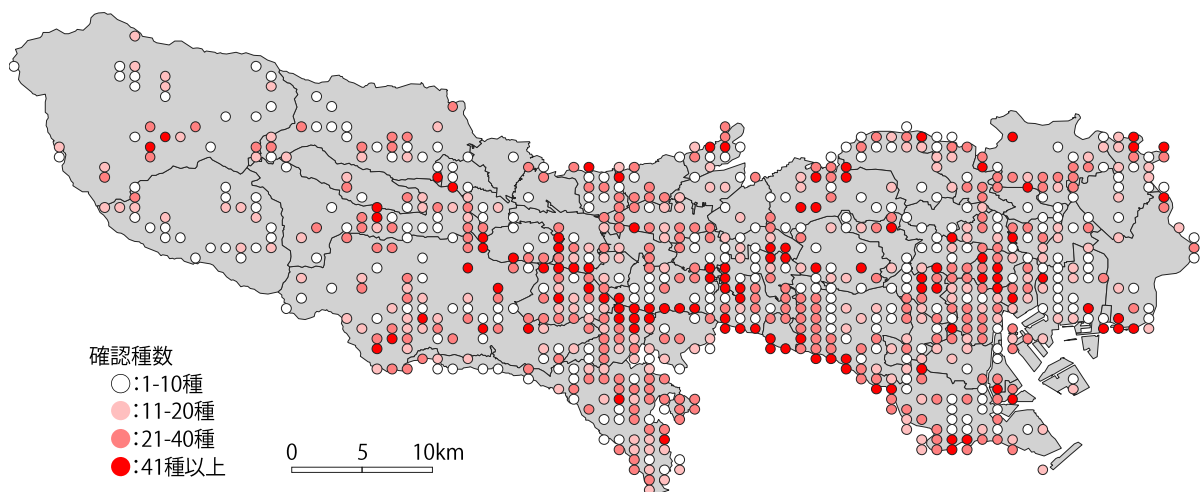


図1. 情報の得られたメッシュとそこで記録された種数。種数はアンケート情報の多少が影響するため、必ずしもその場所の生息種数の多少を示すわけではない。

表 1. 2016 年 1 月から 2022 年 2 月までに東京都本土部で記録のあった鳥と確認メッシュ数. 青字は分布図を作成しなかった種.

No	種名	メッシュ数	No	種名	メッシュ数	No	種名	メッシュ数
1	ウズラ	1	66	アオアシシギ	5	131	ヒレンジャク	11
2	ヤマドリ	6	67	クサシギ	8	132	ゴジュウカラ	15
3	キジ	27	68	イソシギ	126	133	キバシリ	13
4	ハクガン	4	69	キョウジョシギ	1	134	ミンサザイ	68
5	コハクチョウ	7	70	ミユビシギ	2	135	ムクドリ	479
6	ツクシガモ	1	71	オジロトウネン	3	136	カワガラス	20
7	オシドリ	24	72	ハマシギ	11	137	トラツグミ	52
8	オカヨシガモ	106	73	ユリカモメ	142	138	マミチャジナイ	1
9	ヨシガモ	58	74	ズグロカモメ	3	139	シロハラ	253
10	ヒドリガモ	180	75	ウミネコ	31	140	アカハラ	89
11	アメリカヒドリ	15	76	カモメ	7	141	ツグミ	434
12	マガモ	225	77	シロカモメ	2	142	ルリビタキ	148
13	カルガモ	381	78	カナダカモメ	1	143	ジョウビタキ	390
14	ハシビロガモ	89	79	セグロカモメ	117	144	ノビタキ	1
15	オナガガモ	145	80	オオセグロカモメ	24	145	イソヒヨドリ	71
16	シマアジ	5	81	ニシセグロカモメ	5	146	(ニシ)オジロビタキ	15
17	トモエガモ	14	82	オニアジサシ	1	147	ロクショウヒタキ	1
18	コガモ	238	83	ミサゴ	47	148	カヤクグリ	15
19	ホシハジロ	149	84	トビ	228	149	スズメ	508
20	アカハジロ	1	85	オジロワシ	1	150	キセキレイ	257
21	クビワキンクロ	1	86	チュウヒ	6	151	ハクセキレイ	486
22	キンクロハジロ	170	87	ツミ	61	152	セグロセキレイ	209
23	スズガモ	78	88	ハイタカ	100	153	ビンズイ	46
24	ピロードキンクロ	1	89	オオタカ	115	154	タヒバリ	86
25	クロガモ	2	90	ノスリ	90	155	アトリ	149
26	ホオジロガモ	13	91	クマタカ	5	156	カワラヒワ	309
27	ミコアイサ	19	92	オオコノハズク	2	157	マヒワ	43
28	カワアイサ	8	93	フクロウ	15	158	ベニヒワ	2
29	ウミアイサ	8	94	トラフズク	5	159	ベニマシコ	40
30	カイツブリ	165	95	コミミズク	2	160	イスカ	1
31	アカエリカイツブリ	2	96	カワセミ	240	161	ウソ	34
32	カンムリカイツブリ	86	97	ヤマセミ	3	162	シメ	202
33	ミミカイツブリ	4	98	アリスイ	9	163	コイカル	3
34	ハジロカイツブリ	27	99	コゲラ	382	164	イカル	92
35	キジバト	481	100	オオアカゲラ	6	165	ホオジロ	166
36	アオバト	7	101	アカゲラ	59	166	ホオアカ	4
37	コウノトリ	2	102	アオゲラ	149	167	カシラダカ	143
38	ヒメウ	3	103	チョウゲンボウ	83	168	ミヤマホオジロ	8
39	カワウ	349	104	ハヤブサ	45	169	アオジ	292
40	ウミウ	8	105	リュウキュウサンショウクイ	41	170	クロジ	31
41	ゴイサギ	76	106	モズ	306	171	オオジュリン	43
42	アオサギ	299	107	カケス	90	172	コジュケイ	57
43	ダイサギ	256	108	オナガ	269	173	コブハクチョウ	13
44	コサギ	235	109	ホシガラス	1	174	カワラバト(ドバト)	463
45	ヘラサギ	3	110	ミヤマガラス	1	175	セキセイインコ	1
46	クロツラヘラサギ	3	111	ハシボソガラス	397	176	ホンセイインコ	179
47	クイナ	29	112	ハシブトガラス	530	177	ダルメインコ	1
48	ヒクイナ	8	113	キクイタダキ	51	178	ガビチョウ	143
49	バン	81	114	コガラ	29	179	カオグロガビチョウ	11
50	オオバン	271	115	ヤマガラ	257	180	ソウシチョウ	22
51	ヒメアマツバメ	54	116	ヒガラ	62			
52	タゲリ	4	117	シジュウカラ	568			
53	ケリ	1	118	ヒバリ	50			
54	ダイゼン	2	119	ツバメ	13			
55	ハジロコチドリ	3	120	イワツバメ	3			
56	イカルチドリ	64	121	ヒヨドリ	661			
57	コチドリ	17	122	ウグイス	339			
58	シロチドリ	6	123	エナガ	365			
59	ミヤコドリ	3	124	ムジセッカ	6			
60	セイタカシギ	8	125	キマユムシクイ	4			
61	ヤマシギ	6	126	コノドリムシクイ	1			
62	アオシギ	1	127	メジロ	521			
63	タシギ	42	128	オオセッカ	1			
64	オオハシシギ	2	129	セッカ	14			
65	ダイシャクシギ	5	130	キレンジャク	5			

・記録メッシュ数の多かった種

東京都で記録メッシュ数の多かった種の上位 20 種を表 2 に示した。東京西部が森林によって占められているため、メッシュ数ではスズメが 5 位、ムクドリが 8 位と森林に生息しない種は上位に入らず、ヒヨドリやシジュウカラ、ハシブトガラスといった森林にも開けた場所にも生息する種が上位を占めた。また、全国の上位種(植田ほか 2023)と比較すると、東京で上位に入っていて、全国で入っていなかった種としては、メジロ、キジバト、ムクドリ、カワラバト(ドバト)があげられた(表 2)。これらの種は、越冬期には北日本に少ない種だということが影響していると考えられる。逆に全国で上位に入っていて、東京では入っていなかった種としては、トビ、マガモなどのカモ類があげられた。東

京は河川や公園等にカモ類が生息しているが、給餌があまりされなくなったことや、周囲に採食地になる水田がほとんどないことから、数は少ない。また、全国と比べて細かい 3 次メッシュで集計しているため、メッシュ内に水域が含まれないことも多くなり、それも影響していると考えられる。

・分布図の見方

非定期の越冬鳥を除いた 156 種について分布図を示した。生息の確認されたメッシュを●で示した。○で示しているメッシュは、他種の記録は寄せられているものの、対象種の記録がなかったメッシュである。また、●で示されたメッシュも、定常的にいる場所でない、稀な記録も含まれていることには注意が必要である。

また、一部の種については、繁殖期(植田・佐藤 2021)の結果と越冬期の結果を並べて示した。分布に変化のない種も多いが、ウグイスやルリビタキなどのように冬に低地で見られるようになる漂鳥的な動きのみられる種や、トビやセグロセキレイなどのように冬に河川以外でも見られるようになる種、ヤマガラやメジロなどのように、都心部でも見られるようになる種など季節によって、分布が多少変化していた種もあった。

表 2. 東京都と全国の記録メッシュの多い種 上位20種

東京都			
種名	メッシュ数	種名	メッシュ数
1 ヒヨドリ	661	11 ハシボソガラス	397
2 シジュウカラ	568	12 ジョウビタキ	390
3 ハシブトガラス	530	13 コゲラ	382
4 メジロ	521	14 カルガモ	381
5 スズメ	508	15 エナガ	365
6 ハクセキレイ	486	16 カワウ	349
7 キジバト	481	17 ウグイス	339
8 ムクドリ	479	18 カワラヒワ	309
9 カワラバト(ドバト)	463	19 モズ	306
10 ツグミ	434	20 アオサギ	299

全国			
種名	メッシュ数	種名	メッシュ数
1 ヒヨドリ	328	11 カルガモ	269
2 ハシブトガラス	325	12 ヤマガラ	266
3 ツグミ	301	13 エナガ	257
4 シジュウカラ	299	コガモ	257
5 ハシボソガラス	293	15 カワラヒワ	256
6 トビ	286	16 アオサギ	255
7 マガモ	282	17 ジョウビタキ	248
8 スズメ	279	ノスリ	248
コゲラ	279	オオバン	248
10 ハクセキレイ	273	20 ヒドリガモ	246
		カワウ	246

調査協力者

調査にあたっては、43 人の方の協力を得た。これらの参加者の協力なしには調査は実施することはできなかった。以下にお名前を列記して、お礼に代えさせていただく(敬称略)。また、これらの方々以外にも、バードリサーチの野鳥記録データベース「フィールドノート」や eBird Japan への情報入力を通して多くの方々の情報を使わせていただいた。これら多くの方に感謝申し上げます。

伊藤信明, 井灘志げ子, 井上裕由, 岩谷比呂子, 植田睦之, 上田智子, 大井智弘, 大塚恵子, 大塚豊, 大原庄史, 加藤和美, 金子凱彦, 川島賢治, 久保賢一, 近藤健一, 斉藤けい子, 篠崎雄彦, 柴田絵里, 鈴木宏芳, 鈴木遼太郎, 関口佳子, 園村茂夫, 高橋新一, 田中利彦, 塚島律子, 中野晃生, 仲真晶子, 成末雅恵, ネイチャーリーダー江東, 菱沼洋子, 広友詞子, 藤波不二雄, 藤原郁久, 堀内和啓, 松村茂生, 水村春香, 三間久豊, 村尾雅宏, 茂木大樹, 森由香, 山本陽子, 吉原由紀子, 和田真理子

東京都鳥類越冬分布調査報告 2016-2022

2023年2月11日 発行

本文執筆：植田睦之・葉山政治

表紙写真：三木敏史（ジョウビタキ）

発行：特定非営利活動法人 バードリサーチ
〒186-0002 国立市東 1-4-28 篠崎ビル 302